

表6 分析結果一覧(地下水)

飲み水として適合するか調査をしましたが、「飲み水としては適さない」という結果でした。

水道法 分析項目	地点名				基準値
	No.1	No.2	No.3	No.4	
一般細菌	15,000	57,000	15,000	36,000	100/mL
大腸菌	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	不検出
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1未満	3	2	2	10mg/L
塩化物イオン	20未満	20未満	20未満	20未満	200mg/L
有機物等(TOCの量)	7.0	2.9	0.8	4.1	3mg/L
pH値	6.5(21℃)	6.4(21℃)	6.2(21℃)	6.6(21℃)	5.8以上8.6以下
臭気	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと
色度	3	2	2	6	5度以下
濁度	920	1,200	150	1,400	2度以下
(採取した地下水の深度)	7m前後	9m前後	8m前後	8~9m	

・ 一般細菌：水や水中に生育している細菌のことで、ほとんどが無害な細菌。清浄な水には少なく、汚濁された水には多い傾向があるため、水の汚染状況や飲料水の安全性を判定する指標

・ TOC：水中に含まれる有機物の量を示す。有機物を構成する炭素の量を測定し、有機物の量に関連付けることで、水質汚濁や水の水質を管理する指標

・ 濁度：水の濁りを表したもの。濁りの原因となる物質は、地表の粘土性物質、土壌粒子、粒子状の有機性物質など